柳川自校だより

令和　５年
１１月号

〒８３９－０２４２　柳川市大和町豊原１００　柳川自動車学校
TEL　０９４４－７２－５３７１　FAX　０９４４－７２－５３７３

秋を実感する季節となり、急に朝夕が冷え込むようになりました。
この時期は、薄暮から夜間にかけて、ものが見えにくくなるため、危険を見落としたり、発見が遅れがちになります。
ヘッドライトを早めに点灯するとともに、ハイビームを十分活用し、安全走行に努めましょう！！
今月は、10月号に引き続き、夜間の安全走行のポイントについて紹介します。

夜間の安全走行ポイント！

◎ 速度をチェックする

・夜間は危険の発見が遅れるので、昼間よりも速度を落として走行するのが基本！
・走行速度を感覚に頼るのではなく、スピードメーターでしっかりチェックしましょう。

◎ 視線をできるだけ先の方へ向ける

・危険を少しでも早く発見するために、視線をできるだけ先の方に向けましょう。
・ヘッドライトも交通量の多い市街地や対向車や先行車がいる時を除いて、上向きにして歩行者などを早めに発見するよう努めましょう。

◎ 対向車のライトを直視しない

・対向車のヘッドライトの光を直接目に受けると、何も見えない状態となります。これを「眩惑（げんわく）」と言います。眩惑されると回復するのに数秒を要します。その間は、目を閉じて走行しているのと同じ状態になり極めて危険です。
・対向車のヘッドライトの光が眩しく感じるときは、視線を少し左側に移して眩惑されるのを避けましょう。

◎ 見通しの悪い交差点などではヘッドライトを点滅させる

見通しの悪い交差点やカーブを走行させる時は、ヘッドライトを点滅させるなどして、相手に自車の接近を知らせるようにしましょう。

◎ 明るい場所での落とし穴に注意する

・明るい場所にさしかかった時は、ドライバーの視線は明るい側に向きがちで、反対側への注意が薄れてしまい、反対側（暗い方）の歩行者などを見落としてしまう危険があります。
・速度を落とすとともに、道路の両側の状況を十分に確認しましょう。